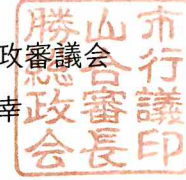


令和4年2月17日

勝山市長 水上 実喜夫 様

勝山市総合行政審議会
会長 塚本 利幸



第6次勝山市総合計画について(答申)

本審議会は、次の10年間のまちづくりの設計図となる第6次勝山市総合計画(案)について、令和3年12月21日付け勝未来発第448号で諮問を受け、以来5回にわたり会議を開催し、慎重に審議を重ねてまいりました。

その結果、人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、市民生活の安全安心に直結する「子育て・教育」「福祉・健康」「産業・経済」「防災減災・生活環境」の4つの分野をしっかりと守り支え、その上で地域の未来とまちの楽しさを創るという基本的な方向性は、大いに賛同するところであり、本計画案については概ね妥当と認めます。

なお審議の過程において各委員から活発な意見、要望等が出された中で、特に下記のことについて本審議会の意見として付記します。

また各委員から用語解説の必要性や語句の使用、言い回し等について意見があったことについても十分に考慮のうえ、最終的に成案として取りまとめられることを要望します。

最後に、この計画の推進にあたっては市民への情報公開および市民からの意見・提案をしっかりと組み入れた政策形成と適切な進行管理を図られることを併せて要望し、本審議会の答申とします。

記

1. 本計画の推進にあたっては、「勝山らしさ」や「強み」をしっかりと捉え、それらを広くアピールし市民・事業者・行政が協働して政策の推進を図られたい。
2. 地域の担い手が減少する中、まちづくり会館(仮称)及びコミュニティセンターを活用し、様々な人材や各組織をつなぐ場所をつくることで、地域活性化の総合的な取り組みの推進を図られたい。
3. 子育て支援や教育環境の充実、健康づくりへの支援、市内企業との連携による産業の振興、企業誘致と合わせたU・Iターンの促進、地域防災力の向上など、重要な政策課題に一体となって取り組みの推進を図られたい。